

中国～朝鮮～日本 東アジアの瓦の流れ

現在、私たちに身近なものとなっている屋根瓦は、紀元前11世紀の中国で生まれました。その後、瓦は仏教とともに朝鮮半島へ伝わり、日本にやってきたのは誕生から1500年を経た西暦588年のことです。

本展覧会では、かわら美術館所蔵の中国・戦国時代から、朝鮮半島・三国時代、そして日本の飛鳥・白鳳・奈良時代までの瓦を取り上げ、中国で生まれた瓦がどのように東アジア各国に伝わり、古代社会の中でどのように変化し、広がっていったのかを考えます。



素弁蓮華文軒丸瓦
(大阪・九頭神廃寺出土／白鳳時代・7世紀後半)

と き	3月12日(土)～4月3日(日)
観覧時間	午前9時から午後5時まで(観覧券の販売は午後4時30分まで)
観 覧 料	高校生以上200円(160円)、中学生以下無料 ※()内は20人以上の団体料金、および高浜市内在住者
休 館 日	月曜日(3月21日は開館)、3月22日(火)

関連行事

①ギャラリートーク

と き 3月20日(日) 午後2時～
ところ 展覧会会場
参加費 無料(ただし当日観覧券が必要)

②ワークショップ「屋外での拓本に挑戦」

と き 3月27日(日) 午後2時～
ところ 美術館3階講義室、森前公園
参加費 500円(実費)
募集人数 10人
申 込 3月6日(日)午前9時より電話にて受付します。

問合せ先 かわら美術館 ☎52-3366

LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語のページを読んで下さい!

広報

たかはま

編集・発行／高浜市役所危機管理グループ

〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2
TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110
<http://www.city.takahama.lg.jp/>
電子メール info@city.takahama.lg.jp

表紙

“住”民を“護”る15日

高浜まちづくり協議会のあんしんグループでは、毎月15日を「住護の日」とし、小学校児童の下校の見守りなどの活動を行なっています。グループのメンバーが通学路に立ち、児童への声かけや道路の横断の補助などを行い、子どもたちの安全を守りながら地域の繋がりを深めています。

早期配布にご協力ください。



VEGETABLE OIL INK 広報たかはまは植物油インキを使用しています。